いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一ノ二　電話三八一番
發行編輯印刷人　千葉克己
日刊　但月曜日を除く
定價　一ヶ月六圓　一部三十錢

(久)　釜屋商店　平市五丁目

スト反對に平女保護者會立つ

きよう決議文を手交して猛反省を求む

生徒は一日から解決までの間盟休決行

いよ〳〵一日からの教組すと、斷行を前に市立平高女保護者會では■日信用組合ろう上に役員會を開き對き論議の結果すとには斷然反對に態度いつ決し左の如き項目を決議もしも教師側がいれぬ場合は即時授業料保護者會費先生への生活補助資金の不納を決行かつ備品充足のため父兄會から寄附を募り學校側へ委託した現金七萬■圓の即時引渡しをよう求することとし■■日午前八時半を期し吉野健助鈴木勇の正副會長を始瀧川、市原、近藤の各幹事が全校を訪れ教師側に右決議を手交した同時に生徒に對してはすと斷行か中止か如何にかゝわらず教師側か父兄會の決議に滿足な回答をなさぬ限り父兄側に於いて登校を禁止、盟休させることに決定した　さきに磐女父兄會の　すと反對決議があり、いま又平女のこの決議があり教組すとに對する保護者側の態度も俄然硬化するばかりの樣子である

△決議

生徒はすとに入るも入らぬも問題解決まで盟休させる

いやしくも教壇を放棄するが如き過激分子教師の即時退陣をなさしめること

即時全國教組を脱退すること

項きん急役員會の結果に基いて一日午前九時から公會堂日本間に父兄大會を開いてあくまでスト反對の氣勢をあげ教組側の反省を求めることと決つた

先生方の生活保護者で保証

平高女保護者會が

スト反對を決議した平高女保護者會では別項保護者側のよう求を教師側が容れた場合は教組のよう求事項中の生活改善問題その件については保護者において目的貫徹に努力す■用意ある旨即ち教師連の生活保證はある程度保護者會でなす肚である旨をも併せて傳へた

父兄大會 日開催

平高女保護者會では別

市役所もスト

勤務停止程度も決定

市役所職員組合では二月■日からスと斷行を決定　勤務停止の基準を決めた

▲進駐軍關係　組合管理▲庶務關係（全部停止）▲經濟關係（全部停止）▲社會厚生關係　全部停止）◈醫療防疫關係（止むを得ざるは場合組合管理）◈戸籍關係出生、死亡　埋火葬のみ組合管理）◈教育關係（全部停止）◈土木建築關係（全部停止）◈上水道關係（娯樂場　大工場　官衙　大邸宅に對する給水は全部停止　一般市民に對する給水管理）◈下水道關係　排水上止むを得ない部分のみ組合管理）◈清掃糞尿關係（全部停止　◈火葬場關係　組合管理　◈財務關係　全部停止　◈勸業關係　組合管理　◈配給關係　組合管理

宮越氏を中央派遣

日鑛青年部が

日鑛常連青年郎長宮越忠氏の上京不在中は副部長大日本勿來鑛青年部長五十嵐誠二氏部長事務を代する

乳牛斡施

郡北酪農組合ではこのほど農業會石城支部に乳牛三十六頭の斡旋方を申込んで來た

▲草野八頭▲大野十一頭▲大浦七頭▲四倉二十七頭▲夏井八頭

なお農業會では北海道から斡旋する

電球配給

電球が配給になります　平市配給課に四十、六十わつと併せて七百五十九個　百わつと千九百三十六個が屆いたので戸に一個の割で配給される　期間は五日まで　お値段は百わつと十四圓十五錢　四十、二十わつと七圓四十五錢の割

要求絶對支持

全炭勞協

日鑛青年委員會で

日鑛常運青年部擴大委員會は三十日午前十時から市勤務署樓上に開いて先づ本部の松永主事から全炭勞協の結成方向並に今回の全國賃金統制等のよう求說明があつてから協議に入り全炭勞協のよう求は絶對に支持右よう求貫撤のため全炭勞協本部及び鑛中央本部とに設けられる中央鬪爭委員會へ二名の委員を縣から送らくるに當り中〇名は青年部から出すこと〇又例の丸ノ撤廢には絶對に反對を表示し松永主事を通じて全炭勞協の手から存續と政府によう求することゝし又日鑛青年部が實施中の石炭救國運動は一切今は新誕生の常磐炭田青年部協議會へ引繼くので去月限りで應打切ることゝした

五十嵐副部長代行

日鑛青年部では全炭勞協反び日鑛中央本部鬪爭委員會に送くる代表委員中　名はこの青年部から送くるべしと　右には青年部長氏をは遣することとした

全氏は五日常磐炭田青年部結成大會に臨んだ上　青年部たちに見送られて全日午後に上京する

連合父兄大會は

教員スト絶對支持

昨日共闘が世話人で開催

二十九日父兄大會は同夜の共闘世側百余名出席金賀委員の市民大話人會で二十九スト前長の挨拶に次いで大內會で提唱にして急遽二十九日午后近雄森川泰一郎兩氏をされた市■時から磐女講堂で開正副議長に推し中坂昇內連合父かれ父兄側　百余教員氏司會の下に進められた先づ教組側のスト入に至つた經過報告後父兄側から夫々忌憚のない意見の開陳があり結局保護者會のスト反對のは　幹部の意見で一般父兄は關知せずとて次の決議をなし全面的に應援する事になつた決議文措置であることを認め我々父兄會は飽くまでも之を支持し以て教員の生活權を獲得し新日本教育を一日も早く確立せんことをよう望する右決議す

お尋ね者

遂に御用

市內正月町無職司馬郎　四は昨年　月頃から石炭やアンモニャ等を種に市內を中心に詐欺を働いているので捜査中二十日夜內郷町で遊興中を平署にとはれた被害　數萬圓余に達する見込み

平窪民生常務委員

舊平窪方部民生委員の常務委員は鶴田廣隆氏に決定

涉外局發表

スト中止通告發せらる

總司令官は卅一日午后二時二、一スト中止を通告した

いわき言

◎市の供米しも割當を超過して見事に完遂された消費地平の完遂は偉とすべし◎この完遂の蔭に市農業會幹部の血の出るような努力のあつたことを一般市民は感謝すべし◎民主共闘の世話で開かれた市の父兄連合會では教組ストを絶對支持　これに對し平高女保護者會は斷乎反對を表明す◎さて父兄保護者の意

石向はいづれが本當か然し內心は反對が强いとみるは藪にらみか◎平驛員スト中は客車を臨時宿舍に籠城戰じゆつに出るさでも〳〵御苦勞千萬◎近頃いたいけない子供の遊びにまでストの言葉が用いられ始めた◎國をあげてのストごつこの今日無理にたが何かさびしい氣がしはせぬか　祖國再建の使命を政府も國民もいまいち度確認速かに心强い一歩のふみ出しを望む

月例麻雀大會
期日　二月一日午後一時
場所　平和荘
主催　一萬荘
平和荘

地方事務所職組

一兩日中に發會式を

福廳職員と歩調を合せて生活權獲得を雄叫びを擧げかねて結成を急いでいた縣廳職員組合石城支部の設立準備委員會は二日午前　時から所內の職場で開催庶務　經濟　社會會計教學各課代表の設立委員を與げて一兩日中發會式を擧げることに決した

伊東大野兩字盟約

古式の杯交す

平驛前伊東一家の總師伊東　氏と共榮土建社の社長大野友森氏の盟約成り　日午後　時半から谷口ろうに於て古式に則りげんかな兄弟分の杯が取交された　來賓には地方の名士百余名臨席　兩氏の兄弟分乾分等の外客分なども數列席　平地方稀れに見る盛況を極めた

尙席上　伊東一氏の兄弟分齋藤角治氏並に同鈴木重雄氏の分家と分家藤太一郎氏の若者取立ひ露なども行はれた

社告

本社は社屋新築と併行して印刷工場の整備を急いで來ましたが辛ふじて印刷可能の程度に進ぼするに至つた爲二月一日附本紙より本社工場に於て印刷することになりました

近くセポイン活字使用の前提として十段を採用しましたが工場設備未完成のため紙面の態裁に於て或ひは不行とどきの點あるものと思ひますが　當分の間御寬恕願ひます

いはき民報社

開店披露
麻雀大會
◈期日二日（日曜日）午後一時より
◈た數御さん加をお願致します
平麻雀俱樂部
平市仲田町　平撞球場隣）

電力緊急制限ノ御願

例年冬期に入りますと河川の凍結降雨量の減少等の爲水力發電ヵが減少するので相當の火ヵ發電で不足分を補給して來たのでありますが今年は御存知の通り石炭事情の爲需用に對し發電ヵが著しく不足する結果となりました就ては關東以西の地域に於ては現に[illegible]送電を停止する等の非常措置により緊急場を切り拔けて居る處で[illegible]ます當地方に於てもかねて皆樣に電ヵ使用限度を御通知申上げ[illegible]居りますが愈々本格的な寒さを迎へて發電ヵも日々急速な減少を來して居りこの儘放置すれば遂に當地方が全停電の危機に立至りました就ては東北地方の電ヵ危機を乘切る爲渇水期間中左の點を確實に御實行願ふ樣格別の御協ヵを御願ひ申上げます

一　かねて御通知申上げた電力の使用限度は確實に御守り下さい

二　特に當分の間の毎日の御使用電力量は其の月の御使用限度の日割量を超過せしめぬることとなほこの場合午前七時より午前八時迄の間に御制限願ふことと

三　水力發電が豫想外に減少して來た場台は臨時に毎日の御使用限度減少を御願ひすることがありますがこれを確實にお守り下さい

右を御守り下さらぬ爲全體の電ヵ受給の均衡が得られなくなつた場合はその地域に限つて已むを得ず定時間　凡そ午前　時より午後八時迄の間を限つて電氣事業者に於て一齊停電を致すことがありますから右の事情を御賢察の上何卒御了承置下さい又前記電ヵ危機の折柄電氣事業者の承諾を從ない電熱器電灯其の他の電ヵを御使用になることは絶對に御慎み下さい配電■■に於ては正當な需用家の皆樣の爲にも隨時御邪魔まして電氣の御使用狀態を檢査さして頂くことになりましたから豫め御報せします

平地區民主電力協議會
東北配電株式會社福島支店
平營業所

搬出路の先づ補强を

坑木增産に必死の平營林署

出炭最大の隘路となつて居る坑木は各炭鑛のなげきをよそに山では出るに出られずの狀態で滯貨一萬石と言はれてゐるが平營林署管内の抗木狀況は永戸村中山の四千石　民間流木拂下げ一千五百石　永戸村銅屋場一千五百石　塩田一千五百石流木拂下げ五百石　下小川村の百四十石合計一萬二千四百石といふ數字であるが實際は中山の一千五百石は常磐鑛小田鑛に　民間流木も一千五百石搬出銅屋場塩田も搬出クヌギ平は三百石も搬出すみで殘るは中山の二千五百石クヌギ平の百石　銅屋場の流木拂下げ五千石のみだが現在の林道は惡路のため搬出が全然不能狀態にあるので營林署では民間業者と協力現在の縣道の强化と共に地元町村の應援を得て林道の開發を行ひ折角の坑木を一日も早く炭こうに送り增産の隘路を打開すべく奔走してゐる尚同署管内の坑木材は永戸中山にはなほ二萬石があり二十二年度分として常磐炭田に是非共送るべく經濟資材運搬等のあらゆる惡條件を克服して抗木增産に地元營林署の機能を動員してゐる

地方事務所
青年會結成

たるみがちな所内を明るくと石城地方事務所の若い所員さん達十余名がこの程地方じ務所青年會を結成　左の誓ひを行つた

▲われらは自巳の職務に責任をもちませう

●われらは協力して所内を明るく明朗にいたしませう

▲常に官吏たるの誇りをもちませう

うれしい如月の番組

聚樂館は洋畫專門に轉向

當正月あけの市内常設館の二月興行は先づ聚樂館が既報の如く洋畫專門の殿堂に鞍替えする大異變を刺戟劑とし各館とも俄然張り切つてゐる　そのぷろの編成をみると左の通りである　いづれにせよ映畫ふあんにとつてはうれしい　きさらぎの銀幕ではある

（聚樂館）

△[illegible]日から　アリゾナ△十[illegible]日から　銀れいセレナ[illegible]△[illegible]八日から　ルパン登場△二[illegible]五日から　ゆ靈紐育を歩く

（世界館）

△四月から　忠治子守唄△[illegible]日から　なげきの白ばら△[illegible]八日から　十一人の女學生△[illegible]五日から　エノケンの法界坊

（平　館）

△四日から　最後の鐵腕△[illegible]一日から　くつかけ時次郎△[illegible]八日から　海の狼及び滿月城の歌合戰△二十五日から　許された一夜

花柳病院の寄附　決定

市内に新設される花柳病院の建築寄附募集の平市割當は一万七千二百十六圓と決定されたので市當局では早速市內六千余市に一世帶當り二圓及市民ぜ一圓に割對し十一錢一厘りんので寄ふを求めることになつた

まる炭制も

暫くは在續か

物資優先配給實現まで

縣炭勞協から陳情の結果づ

縣炭勞協では丸炭制の廢止案に對して去月末以來常磐炭鑛の猪狩正男　全製材所猪狩勝巳　日炭鈴木光男氏等を委員として上京せしめ各關係當局筋へ陳情中だつたが　石炭廳當局でも大体りようとして資材生活物資が炭こうに優先配給されるまで認めることゝなる模樣であるとのうれしい消そくである

一万は殺したか

市の鼠討ばつ戰々果

市衞生課では傳染病媒介の王者たる鼠驅除に去月兩度に亘つて新しい猫いらずあんつうの撒布を各家庭每に實施したが　月末迄に集汁された　七區分の成續に依ると四千三百七十七箇に對して約の割の[illegible]六匹といふ鼠討伐の好成績を得たが全區集汁の曉は優に一萬匹は突破に市内の鼠共は潰滅に近しと見られ衞生課ではこの際實施しなかつた世帶にも是非施行して貰ひたいよう望してゐる

もぐり業者取締り

穀物加工に嚴重な監視

食糧事情の好轉から最近郡下各町村に無許可の穀物加工業者が出沒しているので石城地方事務所ではこの數約の一戸とにらみ近く拔打に經濟課員を各町村に派して嚴重監し違反者を斷乎取締ることに決した

開放

投書を歡迎よう望批判結構紙上とく名可

鈴木町議へ

▼小名濱町と緣あつて併合した舊玉川村が一年間も夫婦生活を進めて見たが家風に合はぬと云ふ理由の許に分離せんとするお先棒が町議鈴木一男氏の提唱である小名濱町としても何にを好むでいやなものを抑止しようと云ふ不了見は毛頭ない筈であるが分離の結果玉川村が果して村民が康寧福しを取り戾し得るか否かが疑問である

▼鈴木君の提唱する合併當時の小名濱對玉川村の住濟狀態に就いて彼は斯ふ述べて居る小名濱は起債の對照とする地域が狹隘のために起債不認可であるので玉川村の出畑　町歩を欲して無理に合併を論じたものだと

▼是れは眞赤のつくりばなしの暴談である事は當時收入役だつた樋口速町議に依つて化の皮が剝かれたのである當時小名濱町の起債條件は町更生上當然起債に依るもので水道　魚市場　何れも町財係を償つて起債するので貸[illegible]出方面でも將に出額なので切つて困つた位である　然るに玉川村の狀態は更生村として指定を受け遂に更生し得す僅か許りの村債年却にすら　年も滯納して合併後收入役の手で完納して居る事實に對しては知るや知らずや然るに却つて經濟の行きまりが小名濱町に在りとはろべんも甚しいと逆捻をくつてぎやふんと乘つて居る

▼更にこの分村問題縣斷行せさるに於ては知事や內政部長の頭は吹飛ぶとの言辭をもたらして居るあたり何とも正氣のことゝと思はれない　如斯不おんな言辭を弄して何時も議場を混らんにみちびくのは其の愛町場精神の動作ではない

▲立花議長は其れに對して分離問題結構であるが町會の空氣は分離すべからであるに對して君が分離すると云ふなればこの際町議を辭して共運動に專念する事を勸める若し聞かざれば大勢に順應して如何玉川村民の康寧と福しを增進する爲めに努りりよくして欲しいと云ふて居るが全くの至言で鈴木一男氏に對する頂門の　しんとして猛省を望みたい

小野生

會社設立變更增資合併計理記帳決算

桑原計理事務所

計理士税務所代理士桑原徹

平市揚土電八[illegible]番

映畫紹介

東寶作品

忠治子守唄

四日から世界館

牧陶正の脚本をマキノ正博が監督カメラは石本秀雄阪妻主演のものである

●キャスト●

國定忠治	阪東妻三郎
目明し伊三郎	尾上菊太郎
板割の淺太郎	澤村國太郎
日光の圓藏	河部五郎
三ツ木の文藏	市川百々之助
壁安左衞門	香川良助
澤田喜兵衞	磯川勝彥
百姓傳吉	藤川三之祐
山城屋乾返伴作	八幡震太郎
同　勘三	前田靜男
勘太郎	旗桃太郎
伊三郎息伊之松	柳南美子
お粂	市川春代
勝藏女房お富	原駒子
おとよ	酒井米子
お松	三好文江
清水の[illegible]藏	山本禮三郎
山城屋藤藏	市川小文治

●梗概●

忠治は泣き叫ぶ勘太郎を無やりにがん鐵の背にあづけて慌しい旅に出た勘太郎は親切な壁の安家で堅氣に大きくなるだろうそれを思ふと忠治の脚は心なしか輕かつた山城屋藤藏の家では乾分たちが集つてお尋ね者忠治の行方を詮索が始つてゐる女房のお富も乾分を激勵してゐるしかし遂として忠治の行方は知れなかつた代官所の手配が亂れ飛ぶその頃國定忠治はやはり澤田屋へ定吉と名乘つて住み込んでゐたその娘のお粂は緣談があるのだが彼女は忠治を慕つてゐたある黃昏どき十手を預る伊三郎が息子の伊之松を連れて忠治の酌でやけ酒をあふつてゐた伊三郎は山城屋に女房のお富をとられた氣の弱い男忠治召とりをただひとつの出世にしてゐる今日も伊之松にお母アは山城屋にゐるのではないかと言はれやけ酒になつたのだ更に農夫傳吉は娘お杉を山城屋へうつたが貰つた金三十兩は途中で山城屋の乾分に取られた事情を知つた忠治は山城屋へ毆り込み約束通り伊三郎にとらへられるのであつた

磐南臨鐵

發起人會

三月創立總會

小名濱町磐南臨海鐵道株式會社創立發起人會は三　日日素工場會議室に開催江名町側より振旗前町長黑川漁業會長金成農業會專務臨席小名濱側よりは小野義一禮　金澤氏等の出席した　先づ振旗氏は江名町分擔の九萬五千株式一萬七千株を以て締切總會のを待つて居るが小名濱町側の方はどうかとの質問に對し浦田常務は昨今好轉を示し來たる傾向ありと云ふので何時締切可能なるやに至りては見透ふしがない始末に最後案として江名町有志の協功を得て小名濱側の有志との懇談を個別的に行ひ急速に進むことにし是が非でも　月中に締切三月上旬創立總會を開催することを申合せ散會した

小名臨鐵

株主總會

小名濱臨鐵會社定時株主總會は三一日午後いち時より水素工場會議室で開催　昨年度後期間の營業告報財産目錄貸借對照表　損益計算書並損失金處分案及び取締役並に監査役辭任に伴ふ之れが補充に關する件を附議した　折柄中央に於ける持株監理委いん會より總會を延期すべしとの指令に接したので當日の決議はかり決議とし後り本決議をなす事とした　なお取締役及び監査役は日素系統の岡崎一夫福島一眞兩氏の當選を見たが岡崎氏は社長に福島氏は常務に就任することゝなつた

小口
金融
電話一六〇
湯本・青柳

藥のことなら一
キクの評判
ダルマ藥局
小名濱町電222番

電話開通
三二一
毎度有難う御座います
鮮魚仕出し
丸ニ鮮魚店
小名濱町〇町

復員御挨拶

應召中のところ本月去る五日比島より復員致しましたので十五日から從前通り整型外科の診療を開始致しましたから何卒宜敷御交誼の程御願ひ申上げます

平市揚土小路四
整型外科　大河內醫院
大河內一郎
電話九八八番

◇小型自動車修理部◇
ダットサン
ダイハツ
マツダ
くろがね
平警察署前通
三浦商會
電八六四番

磐中出身者に告ぐ

同窓生諸兄の最近の動靜を左記に通知ありたし

平市紺屋町福島無盡金庫內電一三三
磐中同窓會名簿編集委員會
委員長　山森正

名簿は四月完成の豫定切に同窓生諸兄の御協力を乞ふ

賣れるから安い！
安いから賣れる
それは御存知でせうか
安く仕入れて安く賣る
安値自信百貨卸問屋
さかいや商店
平市六丁目電四八番

◇入荷御案內◇
いざ編みませ　貴女の眞心こめて
仄かな絹の香り　あゝ懷しの感觸よ
まわた毛糸各色
眞綿製品各種
豊富に入荷しました
□有名化粧品と服裝雜貨履物の店
株式會社　川又
平白銀町　電52番

人夫急募
三十名　待遇三十五圓以上
平市立町九一
荒木工業所
平勤勞署